



九州大学韓国研究センター開設 10 周年記念祝典及び記念シンポジウムについて

概要

2010 年 12 月 18 日（土）及び 19 日（日）、九州大学箱崎キャンパス国際ホールにて、九州大学韓国研究センター開設 10 周年を記念する祝典とシンポジウムを開催します。

18 日開催の記念シンポジウムでは、武藤正敏駐韓日本大使や姜尚中東京大学教授、John Duncan UCLA 教授らを招聘し、「東アジアの新しい地域秩序の形成」をテーマに、次の 10 年の東アジア研究の見取り図を描きます。19 日は、北海道大学スラブ研究センターとの合同シンポジウムを開催し、「ボーダー（国境）研究」を基軸に、在サハリン(樺太)コリアンと北朝鮮研究に関するセミナーを開催します。

背景

九州大学韓国研究センターは、金鐘泌韓国国務総理(当時)の九州大学記念講演（1998 年 11 月）を期に、韓国政府の全面的支援を受けて、2000 年 1 月、日本最初の韓国研究センターとして開設されました。日韓併合 100 年に当たる 2010 年を「日韓関係にとって大きな節目の年」と考え、開設以来 10 年間、日本統治期朝鮮半島民衆誌調査・戦後の引揚研究などを通じた歴史研究を実施し、日中韓 3 国のパートナーシップによる東アジア共同体研究や、「福岡－釜山フォーラム」と歩調を合わせた福岡・釜山間地域連携研究などに関する未来志向的研究を展開し、膨大な研究実績を発信してきました。さらにはハーバード大学などで組織された世界 12 大学韓国研究コンソーシアムの研究ハブとして活躍するなど、名実共に「韓国研究の国際的拠点」として認定されています。

内容： 詳細は別紙参照

日時：12 月 18 日 13:00～ 開設 10 周年記念祝典
14:30～ 記念シンポジウム「東アジアの新しい地域秩序の形成」
12 月 19 日 13:00～ 北海道大学スラブ研究センターとの合同シンポジウム
「朝鮮半島をめぐるボーダー研究の最前線」
会場：九州大学箱崎キャンパス国際ホール

効果

国際的教育研究拠点としての九州大学において、韓国研究の強化を図ります。また、日本政府の新成長戦略政策を見据えた、日韓のベストな戦略的互惠関係を形成する政策を提案します。

今後の展開

今回の一連の行事により、本研究センターの未来像を提示し、現在構想中の日中韓「キャンパスアジア」計画において、その主導的役割を果たします。ほか、未来志向的な日韓関係と東アジア地域連携の展望を提示します。

【お問い合わせ】

九州大学韓国研究センター教授 松原孝俊
電話：092-642-4276
FAX：092-642-4359
Mail：matsubara.takatoshi.414@m.kyushu-u.ac.jp



九州大学韓国研究センター10周年記念行事

日時：2010年12月18日（土）13時～17時30分

2010年12月19日（日）13時～18時

会場：九州大学 箱崎キャンパス 国際ホール

【1日目プログラム】

日時：2010年12月18日（土）開場：12時30分 開会：13時 閉会：17時30分

【第1部：10周年記念セレモニー】 13時～

司 会：出水薫（九州大学韓国研究センター兼任教授・法学研究院教授）

開会の辞：松原孝俊（九州大学韓国研究センター長）

歓迎の辞：有川節夫（九州大学総長）

祝 辞：金炳局（韓国国際交流財団理事長）

加藤重治（文部科学省大臣官房審議官・高等教育局担当）

朴元淳（福岡韓国商工会議所会長）

John Duncan（UCLA韓国研究センター長／世界韓国研究コンソーシアム代表）

VTR 金鍾泌（前大韓民国国務総理）

来 賓：趙廷元（駐福岡大韓民国総領事）

海老井悦子（福岡県副知事）

朴成勲（釜山大学校副学長・対外交流本部長）

崔徳寿（高麗大学校教授）

James Lewis（Oxford大学教授）

崔吉城（東亜大学教授）

白永瑞（延世大学校教授）

【第2部：記念シンポジウム】 14時30分～

テーマ：東アジアの新しい地域秩序の形成—日本における韓国研究の視座を求めて—

司会：松原孝俊（九州大学韓国研究センター長）

Keynote speech: 武藤正敏（駐大韓民国日本国特命全権大使）

「東アジアの新しい地域秩序の形成—新時代の日韓関係—」

1. プレゼンテーション：15時～

① 姜尚中（東京大学現代韓国研究センター長）

② 小此木政夫（慶応大学現代韓国研究センター長）

2. ディスカッション：16 時～

- ①金炳局（韓国国際交流財団理事長）
- ②姜尚中（東京大学現代韓国研究センター長）
- ③小此木政夫（慶応大学現代韓国研究センター長）
- ④John Duncan（UCLA 韓国研究センター長／世界韓国研究コンソーシアム代表）
- ⑤James Lewis（Oxford 大学教授）
- ⑥白永瑞（延世大学校教授）

【記念祝賀会】18 時～ 福岡リーセントホテル

【2 日目プログラム】

日時：2010 年 12 月 19 日（日）開場：12 時 30 分 開会：13 時

【第 3 部：朝鮮半島をめぐるボーダー研究の最前線】13 時～

-九州大学韓国研究センターと北海道大学スラブ研究センター合同シンポジウム-

主 催：九州大学韓国研究センター・北海道大学スラブ研究センター
共 催：北海道大学グローバル COE プログラム「境界研究の拠点形成」、
九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト「東アジア戦後史の
基礎的研究」
会 場：九州大学 箱崎キャンパス 国際ホール

セッション 1 「サハリンとコリア」

報告：今西一（小樽商科大学教授）「樺太・サハリンと朝鮮人」
三木理史（奈良大学准教授）「北からの朝鮮人移住と樺太」
許粹烈（忠南大学校教授）「韓国における強制労働研究の現状」

司会：松原孝俊（九州大学韓国研究センター長）

コメンテーター：白永瑞（延世大学校教授）
崔吉城（東亜大学教授）

セッション 2 「北東アジアの境界・北朝鮮」

報告：三村光弘（ERINA 研究主任）「北東アジアにおける北朝鮮」
李鍾奭（元統一部長官）「北核問題の膠着：背景と展望」

司会：出水薫（九州大学韓国研究センター兼任教授・法学研究院教授）

コメンテーター：岩下明裕（北海道大学スラブ研究センター教授）